

## 東庄町の指導改善のポイント

東庄町教育委員会は、小中学校と連携して、以下の点について指導の充実や学習状況の改善を進めます。

### 1 教科等の重点的な指導について

- 授業実践における言語活動の充実
  - ・ 各教科において、語彙を増やすとともに、文章を正確に読み取り、理解し、目的に応じて使いこなす力を身に付けることができるよう授業改善に取り組む。
  - ・ 基礎的な読解力、筋道立てて表現する力、情報を活用する力を育てるために、授業において以下の時間を確保する。
    - ①文章を読み、要約する時間 ②話し合い活動の時間 ③発表する時間
    - ④感想や意見を書く時間
- 「思考し、表現する力を高める実践モデルプログラム」の活用
  - ・ 単元計画や授業計画に、「見いだす」「自分で取り組む」「広げ深める」「まとめあげる」の4つの過程を位置づけ、「主体的・対話的で深い学び」の実現に取り組む。
- 学習におけるICT活用の充実
  - ・ 一人1台端末の有効な活用を目指し、学校における環境を整備するとともに、教職員の活用指導力の向上を図る。
  - ・ デジタル教材、学習ツールの充実を図る。
  - ・ 校務のICT化を進め、教職員が児童生徒と向き合うことができる時間を確保できるようにする。

### 2 生活習慣・学習習慣について

- 生活習慣の改善
  - ・ 睡眠時間の確保や、朝食の重要性等について指導を続けるとともに、保護者に対して啓発を図る。
  - ・ 学校と家庭が連携して、スマートフォンや家庭用ゲーム機器の長時間利用や家庭での利用ルールの未設定などの課題に対し、健康の維持増進等の観点からの見直しを図るとともに、情報モラルと情報リテラシーに関する指導を続ける。
- 家庭での学習習慣の定着
  - ・ 学校と家庭が連携して、家庭における学習の習慣化を目指し、児童生徒の実態に合わせた家庭学習の量や質、方法、時間等を指導する。
  - ・ 家庭学習における読書活動を奨励し、良い本に触れる機会と時間を確保する。